

## 社会資本整備審議会道路分科会 第2回九州地方小委員会 議事概要

### 1. 日時

平成23年5月20日(金)10:00~12:00

### 2. 出席者

〈委員〉

溝上章志委員長、泉健子委員、伊藤解子委員、河西宏委員、辰巳浩委員、松尾新吾委員、吉武哲信委員

### 3. 議題

- ・ 道路防災事業の評価について

### 4. 報告

- ・ 事故ゼロプランの取り組みについて

### 5. 議事概要

「道路防災事業の評価」について事務局より説明後、質疑応答を行った。

(委員からの主な意見)

- ・ 道路事業の多様な効果について便益算出を要請してきたが、このような防災事業の評価に取り組まれたことに対し、評価する。
- ・ 離島、地方によっては、便益の効果が地域間で与える影響が違う。地域間によって重み付けが検討できないか。
- ・ 一般論として便益を算定する際、プラスの便益だけではなく、マイナスの便益も明らかにすべき。
- ・ 豪雨による被災時に、電力などのインフラ復旧に道路が寄与する観点から(道路が通れず現地に入れない実績が多々ある)便益として検討すべき。
- ・ 通行止めによる孤立集落の発生という観点での評価が必要ではないか。
- ・ 便益の算出手法、条件設定など、今後とも十分な精査が必要。どのような評価とするかは、国民の理解が得られるかが重要。

以上